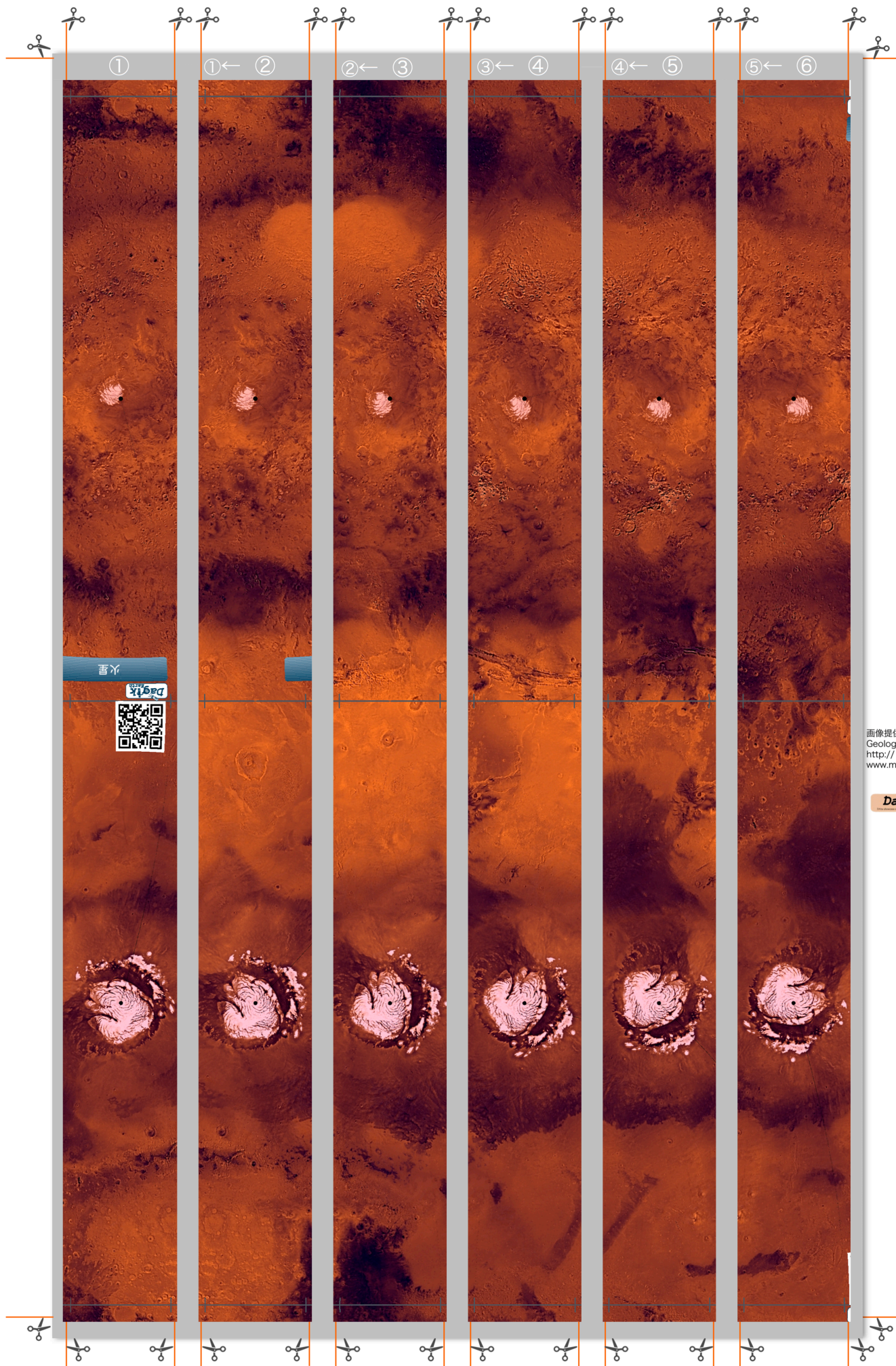




火星

图像提供：The U.S.
Geological Survey
[http://
www.mapaplanet.org/](http://www.mapaplanet.org/)

Dagik

火星

火星は、太陽に近い方から4番目の惑星です。

火星の大きさは、地球のおよそ半分です(直径が地球の0.53倍、月の2.0倍)。重力は地球の3分の1くらい(表面重力が地球の約38%、月の2.3倍)です。ですので、大きさの点では地球と月の間くらいの天体です。

極には二酸化炭素の氷(ドライアイス)と水の氷からなる白い部分があり、極冠と呼ばれています。これは、火星の季節によって大きくなったり、小さくなったりします。

火星で一番高い山はオリンポス山で、その高さは約27000mです。地球で一番高い山はエベレスト(海拔8924m)からの高さで測ってもオリンポス山の方が高いです。このオリンポス山は火山で、大きな富士山のような形をしています。他にも火星にはいくつかの火山がありますが、どれも今は噴火はしていないと考えられています。

データ提供: Dagik Team

火星画像: The U.S. Geological Survey <http://www.mapaplanet.org/>

コンテンツ説明: <http://dagik.org/P/5>

手作り地球儀の作り方: 帯型シート (直径 7.5cm)

準備するもの

- 直径 7.5cm の球 (ガチャガチャカプセルや発泡スチロール球など)
 - 印刷する紙 (再剥離タイプのノーカットラベルシートがお勧め)
 - カラープリンター (インクジェット式の方が色が剥がれずにきれいに作れます)
 - カッターと定規 (あるいはハサミでも)
 - スプーンなど硬いもの (貼り付けた後で、シワを伸ばすのに使います)
- 必要に応じて:
- のり (ラベルシートではなく普通紙に印刷する場合は必要)
 - 磁石や重り (ガチャガチャカプセルの場合はカプセルの中に磁石や重りを入れられます。発泡スチロール球の場合は、穴を開けて埋め込むことができます。)

(印刷する)

- 拡大縮小をせずに **100% のサイズで印刷** します。(画像が印刷されている帯の両端付近の線の間の長さが **23.5cm** くらいに印刷されます。)

(切る)

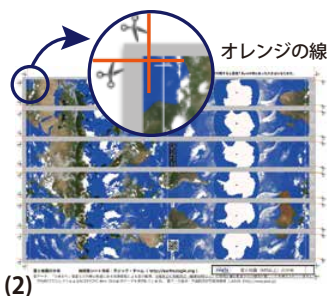
- オレンジの線** (灰色と画像の境界ではなく) でまっすぐに切り取り、6本の帯にします。

(貼る)

- 数字の順番** に貼ります。まずは①の帯を貼りましょう。
- カプセル球の線と、型紙の赤道の線を合わせて貼ります。数字が書いてある所を下に重ねよう、南極等の・マーク(黒点)も目印にしながら貼ります。
- 球を両手で軽く握り、紙①をなじませます。
- 次の②の帯を①の右側に貼ります。向きに注意してください。少しずつ重なるようになっていきますので、赤道の短いたて線マーク→を重ねてください。
- あとは同じように繰り返し線や画像ができるだけずれないように重ねて貼り合わせましょう。

(シワを伸ばす)

- 貼り付けた帯がよれて、シワになっている部分を、スプーンの背中(丸い方)でこすって伸ばし、平らにしてください。全ての帯を貼ってからこすっても良いですし、1枚の帯を貼るごとにこすっても良いです。



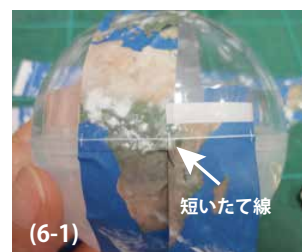
(2)



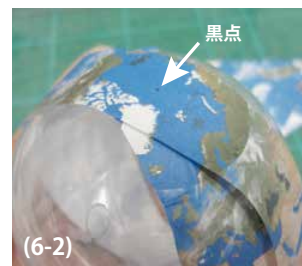
(3)



(4)



(6-1)



(6-2)



(7)